

◆鳥取2区の湯原俊二支部長に聞く

湯原俊二支部長は、昭和37年に専業農家に生まれ、米子東高校、早稲田大学を卒業の後、28歳で米子市議会議員に初当選。その後、32歳で鳥取県議会議員に当選し、以後4期当選。2009

年に衆議院議員となり、2012年より捲土重来を期して活動中。どのような政策を持って挑むのか、立憲民主党鳥取県総支部連合会の浜田妙子代表が聞きました。

♠政治が優先すべきは何ですか？

私は、「人」に投資することを最優先にすべきと考えます。基本的人権を守り、女性の社会参画を進め、生活者・納税者の視点に立つ政治をします。まず、予算を子育て支援、教育支援、年金・医療・介護の充実に優先的に配分します。また労働法制を改善し、長時間労働をなくします。若者の非正規雇用も少なくし、若者が安心して家庭を持てるようにします。東京一極集中から、地方・地域に権限や財源を移します。



♣菅政権を、どう見ていますか？

自民党政権は、昔と違い強いものをより強くし、弱いものは切り捨てる政治をしています。その結果、地方の中小零細企業や農林水産業は疲弊し、大都市と地方との地域間格差や貧富の格差は拡大しています。また、日本の平和主義の基である憲法9条を改正しようとしています。その一方で政治を私物化し、公文書の改ざん、情報の隠蔽など政治や行政への国民の信頼をなくしました。

♥次世代のために何をしますか？

憲法9条の改正に反対します。東京一極集中から地方へ権限や財源を移譲します。所得格差の連鎖を止め、子どもの貧困を解消します。自然エネルギーを最大限導入し、原発に頼らない社会を目指します。大学などの高等教育での返還の必要のない「給付型の奨学金制度」を創設します。農家の戸別所得補償制度を復活し、農家と農村を守ります。



湯原俊二支部長は捲土重来を期して、八年間、懸命に訴えてきました。この訴えが必ず実るように、鳥取県連も総力を挙げて活動に邁進しますので、どうぞ宜しくお願いします。

立憲民主党鳥取県総支部連合会
〒680-0905
鳥取市賀露町128-2
TEL:0857-30-4781
FAX:0857-30-4782
rminsyutottori@leaf.ocn.ne.jp

第2区総支部（湯原俊二事務所）
〒683-0804
米子市米原5丁目3-20
相野ビル2F
TEL:0859-21-2888
FAX:0859-23-3788